

エシカル

倉敷鷺羽高等学校

1年 岡本穂香 吉本心美

人、地球環境、社会、地域に
配慮した考え方や行動のこと

ジャパンプルー

● バナナジーンズ

バナナの茎から取れる繊維と綿を合わせて織られた繊維で作られており、1キロほどある茎の約28%が使われている。麻に似た感触で、着心地が良い。



● 環境問題

バナナは収穫後に切り倒され燃やされてしまう。この時にCO2が大量に発生してしまう。車の渋滞の際にもCO2が発生してしまう。CO2削減のためにバナナ繊維を採用。

● リメイク

より長く使用できる工夫として穴が空いている部分を日本に古くからある伝統手芸(刺し子)を用いている。



● りんごからも

りんごの搾りかすの大量廃棄問題から、りんごかすを原料としてキーホルダーにつくり変えたり、ジーンズの革部分に再利用したりしている。

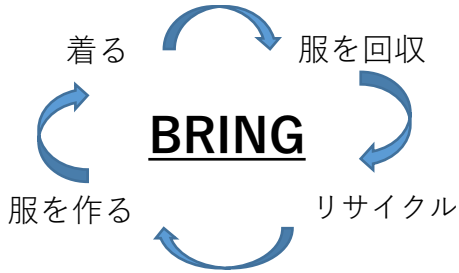
キーホルダー



明石被服

● BRING

古着から新しい服を作る。
私たちが十分に参加できる取り組み。



● +LEAP100

今年の秋に発表されたばかりの再生素材

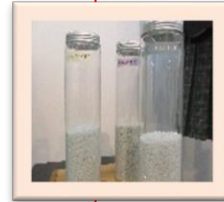
【LEAP】

直訳は躍動・飛び越えるという意味である。元の製品よりも価値の高い物を生み出すという「Upサイクル」の取り組みを進める。

● &+(アンドプラス)

ペットボトルから繊維を取り出し、制服に変身する。500mlのペットボトル25.5本からジャケット一着ができる。温室効果ガス排出量も従来品より61%削減される。

新聞部の活動をしている中でエシカルという言葉を知り、自分の地域でもエシカルについて取り組んでいるか気になった。



大正橋子ども食堂

● 始まり

コロナ禍の昨今では、今まで以上に子どもたちに寄り添う必要があった。

● 集いの場

子どもから大人まで、年齢を問わず集まり、人とつながる場となっている。新しく利用する人やたくさん利用する人など、利用者同士のコミュニケーションの場ともなっている。

地域の人が食材提供し、カレーや豚汁、炊き込みご飯などを地域の方と高校生ボランティアが調理し、提供している。高校生が先生となり、小学生向けの実験教室なども開催される。



～私たちが思うこと～

エシカル社会に向けて、身近な取り組みを知り、情報を得て発信する。そして次の世代へ伝え、思いをつなげる。笑顔があふれ続ける街に！



時代は Reサイクルから
Upサイクルへ

“エシカルでツナガル”

消費

環境

再生

